

# 拠点名称：農村と都市との豊かな結びつきを育む「いわて畜産テリトーリオ」創造拠点

代表機関	岩手大学	プロジェクトリーダー	澤井 健 岩手大学 農学部 教授
幹事自治体	岩手県、久慈市、八幡平市、葛巻町、 岩泉町、田野畠村、洋野町	幹事機関	法政大学 NTTコミュニケーションズ株式会社、 全国農業協同組合連合会岩手県本部
参画機関	盛岡大学、酪農学園大学、神奈川工科大学、九州大学、フィレンツェ大学、八戸工業高等専門学校、農業・食品産業技術総合研究機構、岩手県農業研究センター 一般社団法人岩手県獣医師会、岩手県農業共済組合、新岩手農業協同組合、株式会社ドコモビジネスソリューションズ、アルプスアルパイン株式会社、 株式会社中嶋製作所、株式会社ミナミ食品、株式会社いわちく、株式会社雨風太陽、一般社団法人全日本司厨士協会		

## プロジェクトの概要

岩手県北部6市町村は、畜産をなりわいとして、地域の風土・歴史・文化・くらしが密接に関係し合いながら発展してきた地域である。しかしながら、当地域は、条件不利地を多く抱え、人口減少が急速に進む中で、気候変動や資材価格高騰等の影響により、畜産業の継続のみならず、農村コミュニティの存続そのものが危ぶまれる状況にある。

このため、本プロジェクトでは、「農村のなりわいを守り、都市との豊かな結びつきを育む『いわて畜産テリトーリオ』の実現」をビジョンに掲げ、畜産業を中心に、生産効率のみを重視するのではなく、畜産がもたらす产品や教育効果、景観等を活用・保全し、農村と都市の人々が共に真の豊かさを享受できる社会の創造に向けて取り組む。

ビジョン実現に向けて、「①持続可能で魅力ある畜産をつくる」「②誰でも畜産に携われる基盤をつくる」「③農村と都市の多様な繋がりをつくる」をターゲットとし、本学等の豊富な研究蓄積や多様なネットワーク等を生かしながら、畜産学を基盤として、AIやIoT、5G及びロボット等の最先端技術に加え、社会科学などの多様な知を結集し、分野横断的なイノベーション創出を推進する。また、畜産を核とした地域活性化モデルの構築・展開に向けて、教育・研究・普及の機能を持つ産学官共創拠点を形成する。

